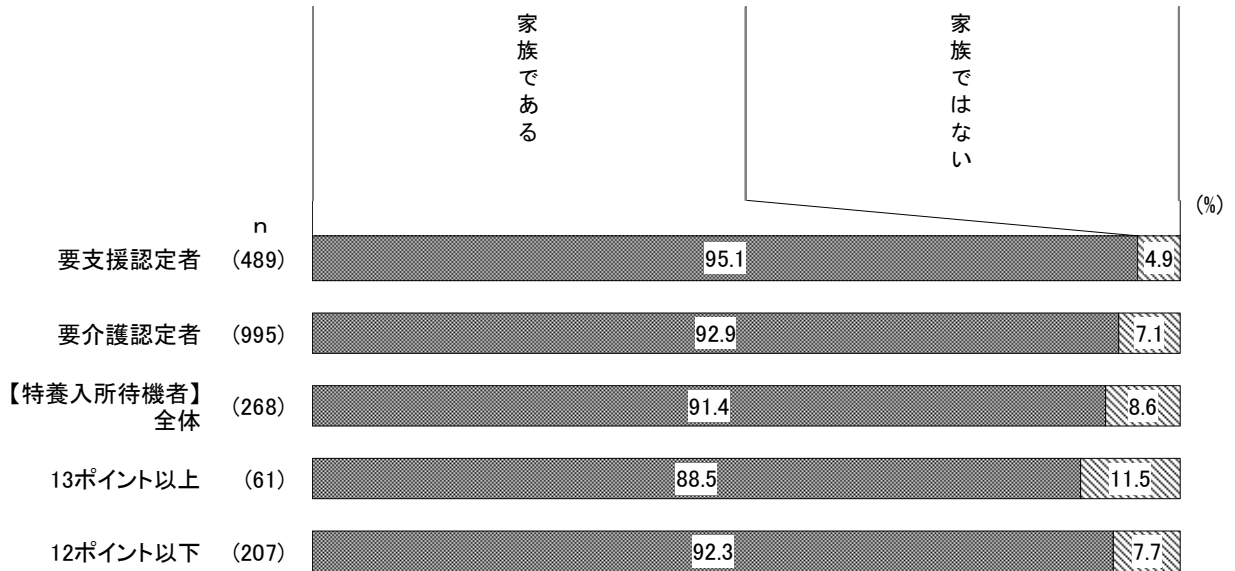


10. 家族介護の状況

(1) 主な介護者

○主な介護者が「家族である」と回答した人は、いずれの調査でも9割以上となっている。

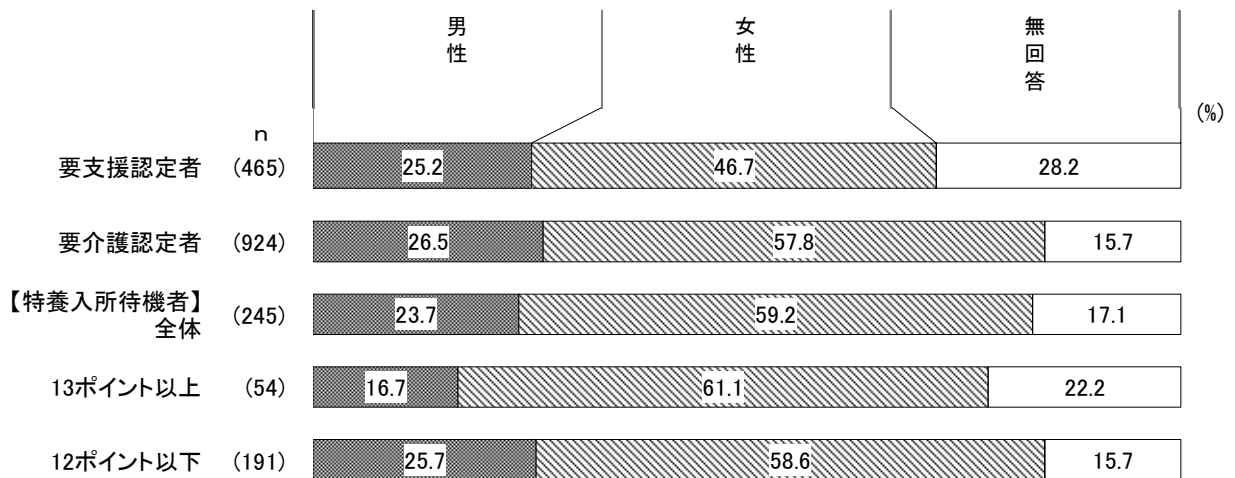


※無回答を除いて集計

(2) 主な家族介護者の属性

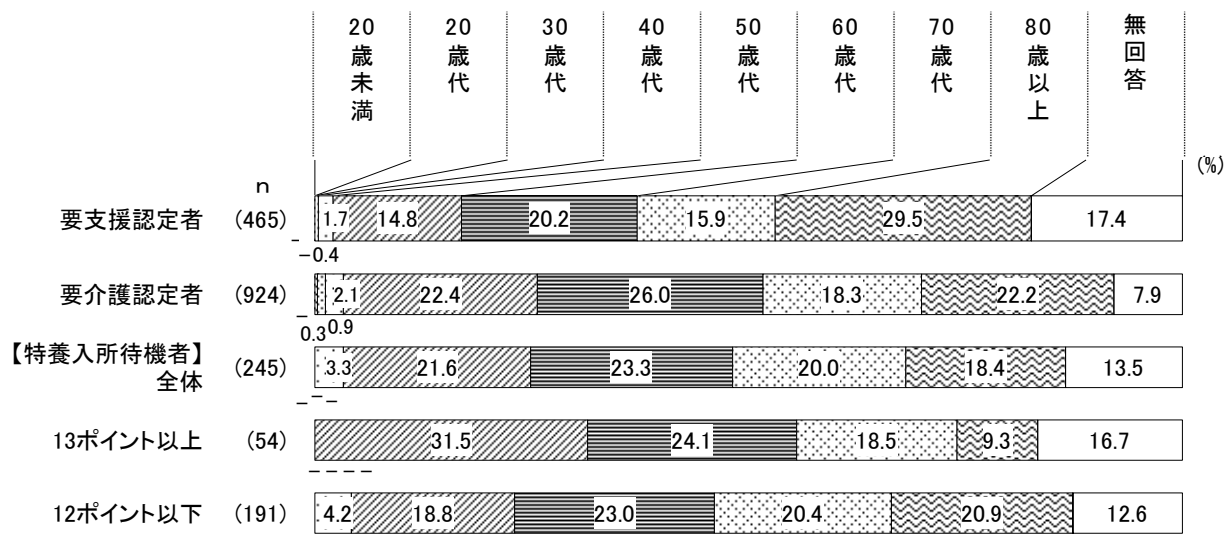
①性別

○主な家族介護者の性別は、要支援認定者、要介護認定者、特養入所待機者ともに、「女性」が「男性」を上回っている。



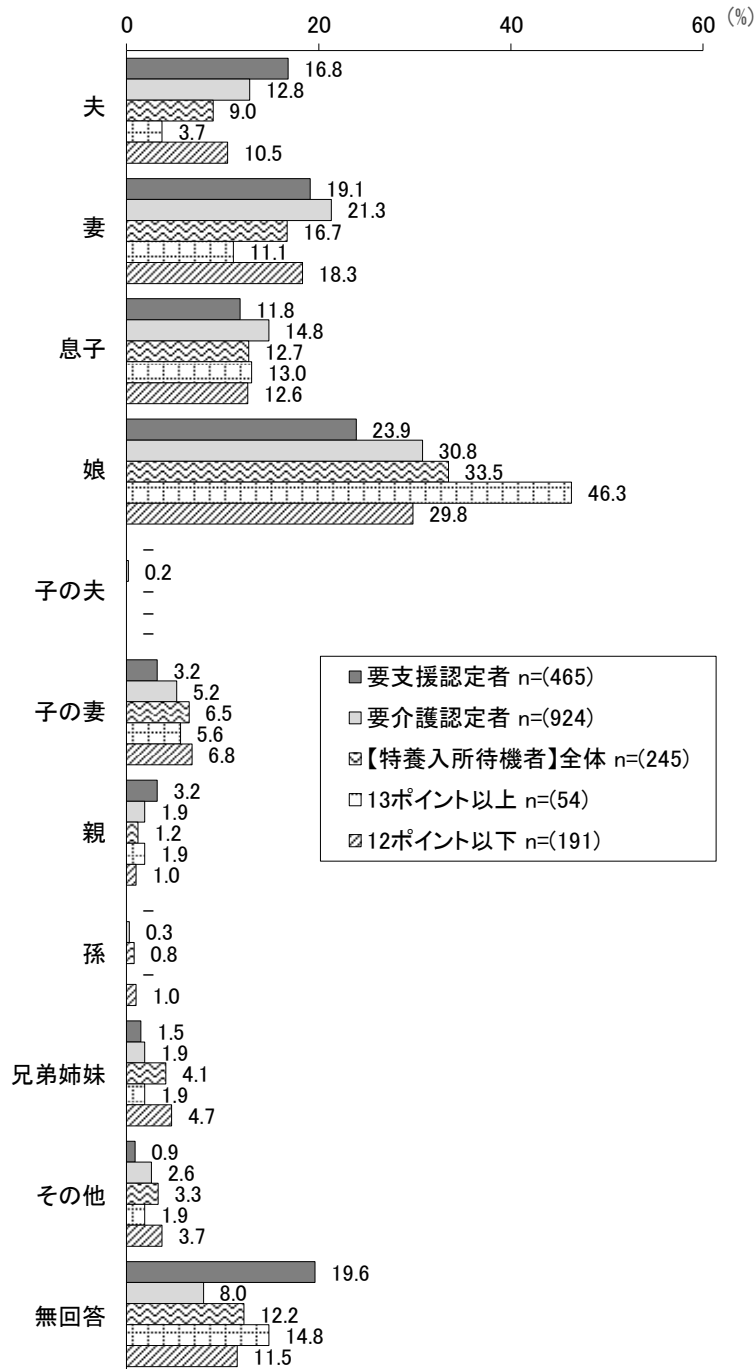
②年齢

- 主な家族介護者の年齢は、要支援認定者では「80歳以上」が29.5%となっている。
- 要介護認定者では「60歳代」(26.0%)が最も高く、次いで「50歳代」(22.4%)、「80歳以上」(22.2%)の順となっている。
- 特養入所待機者では、「50歳代」、「60歳代」、「70歳代」、「80歳以上」が2割前後となっている。



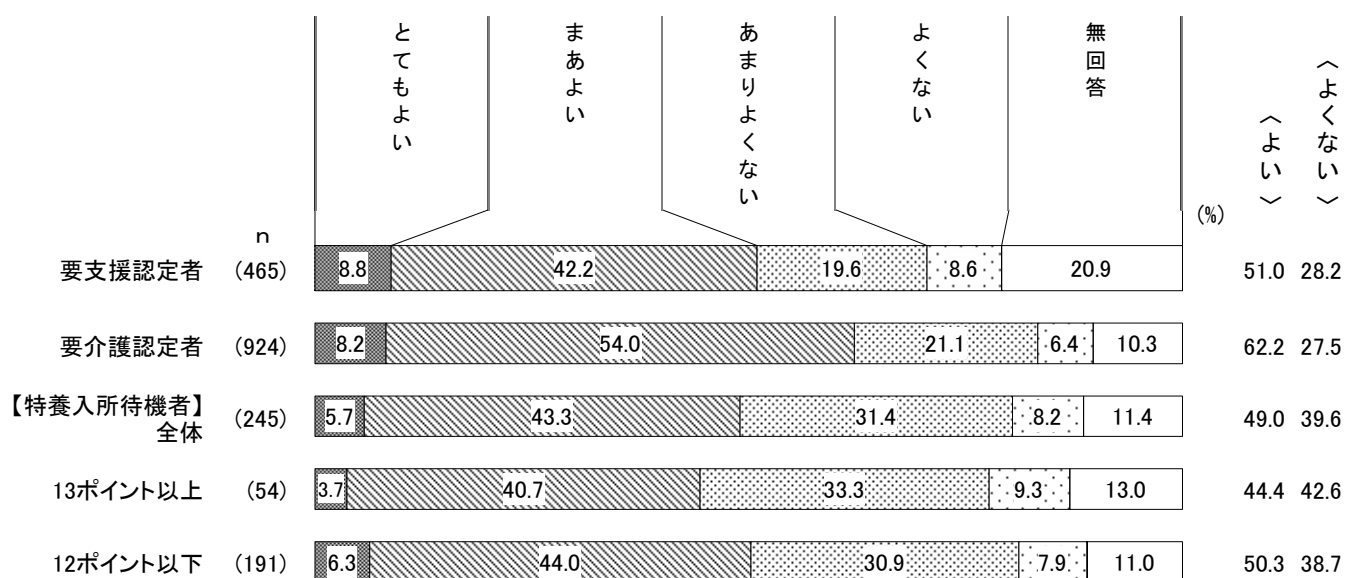
③続柄

- 主な家族介護者の続柄は、いずれの調査も「娘」が最も高くなっている。
- “配偶者”（「夫」と「妻」の合計）は、要支援認定者、要介護認定者で3割半ば、特養入所待機者で2割半ばとなっている。
- “子ども”（「息子」と「娘」の合計）は、要支援認定者で3割半ば、要介護認定者、特養入所待機者で4割半ばとなっている。



④健康状態

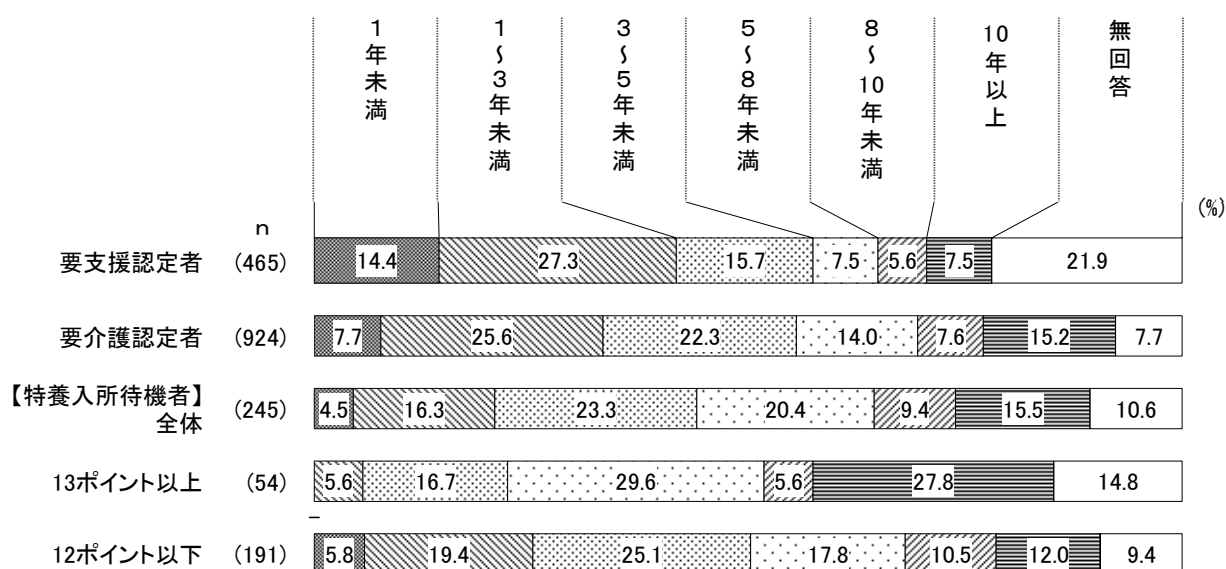
○主な家族介護者の健康状態は、いずれの調査でも“よい”（「とてもよい」と「まあよい」の合計）が“よくない”（「よくない」と「あまりよくない」の合計）を上回っている。



(3) 介護期間

○主な家族介護者の介護期間は、“5年未満”（「1年未満」、「1～3年未満」、「3～5年未満」の合計）が、要支援認定者、要介護認定者で5割半ば、特養入所待機者で4割半ばとなっている。

○特養入所待機者のうち指数13ポイント以上では、「10年以上」が3割近くとなっている。

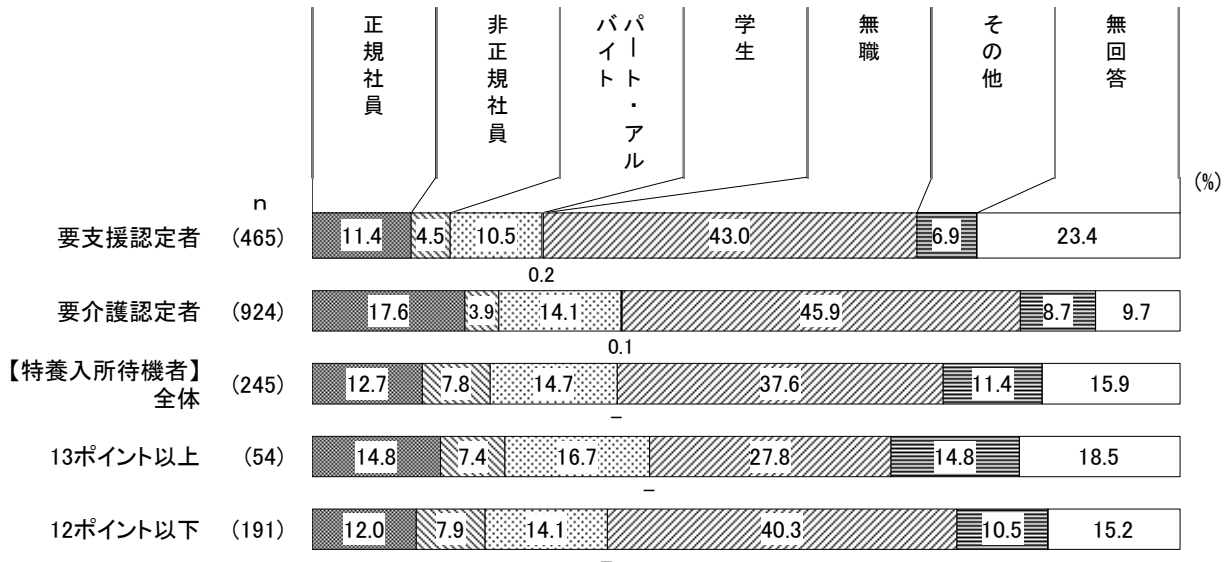


(4) 介護者の就労状況

①就労状況

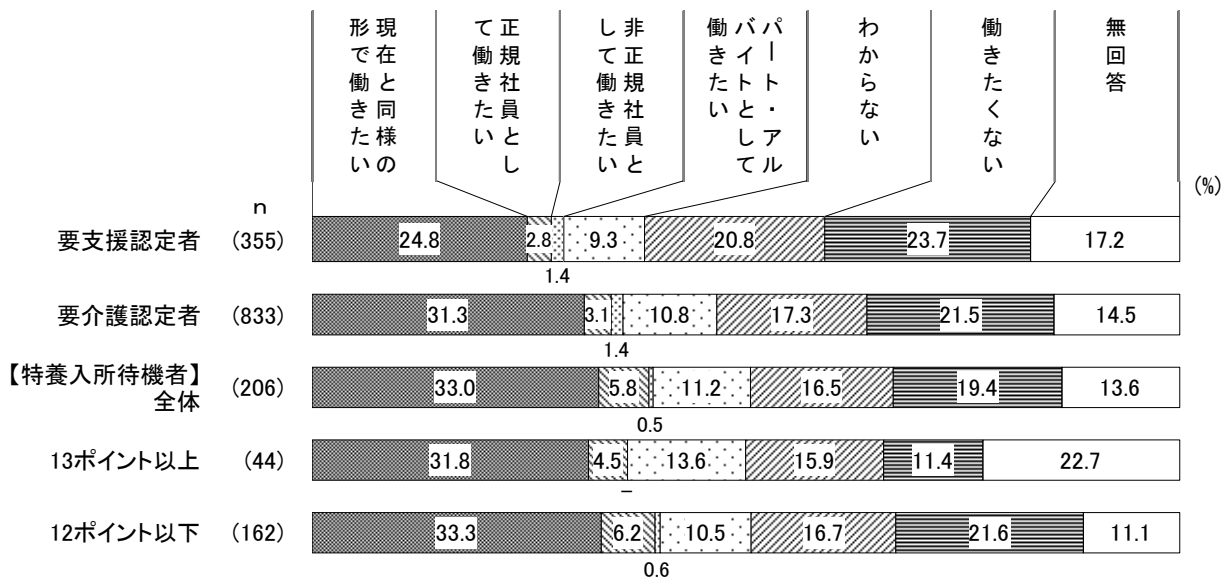
○主な家族介護者の就労状況は、いずれの調査でも「無職」が最も高くなっている。

○要介護認定者、特養入所待機者では、就労している人が3割半ばとなっている。



②今後の就労意向

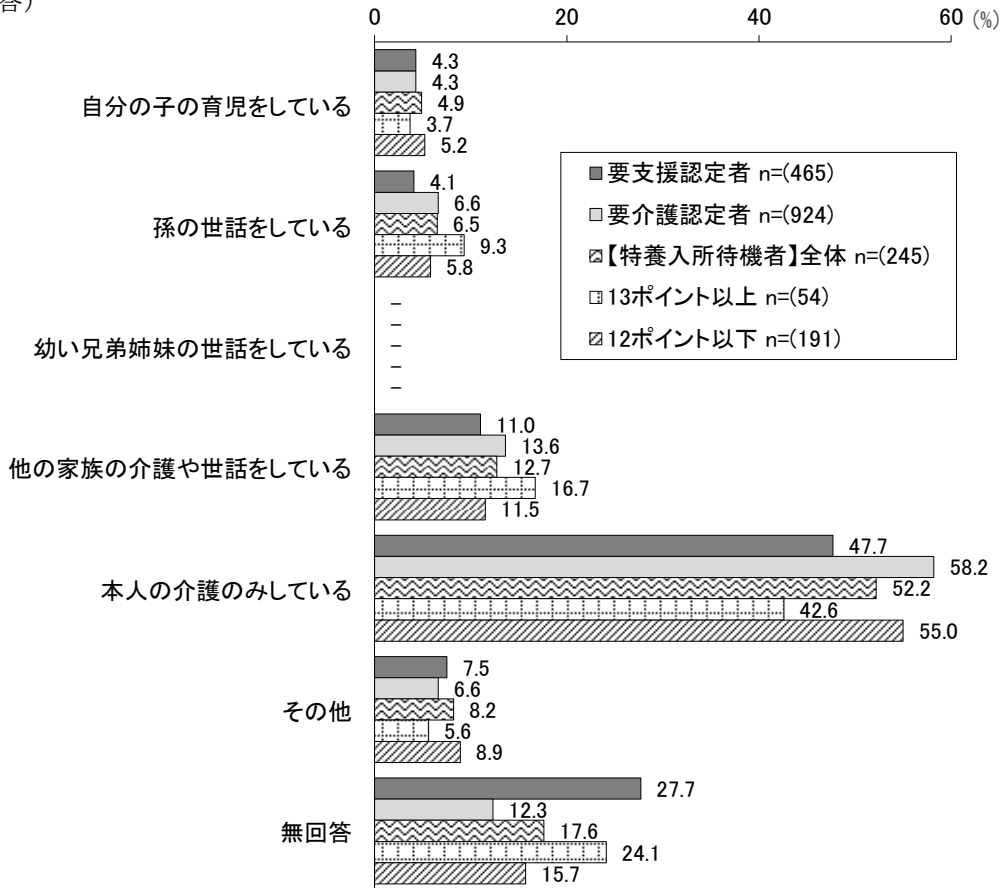
○主な介護者の今後の就労意向は、いずれの調査でも「現在と同様の形で働きたい」が最も高くなっている。



(5) 調査対象者の介護以外の負担の状況

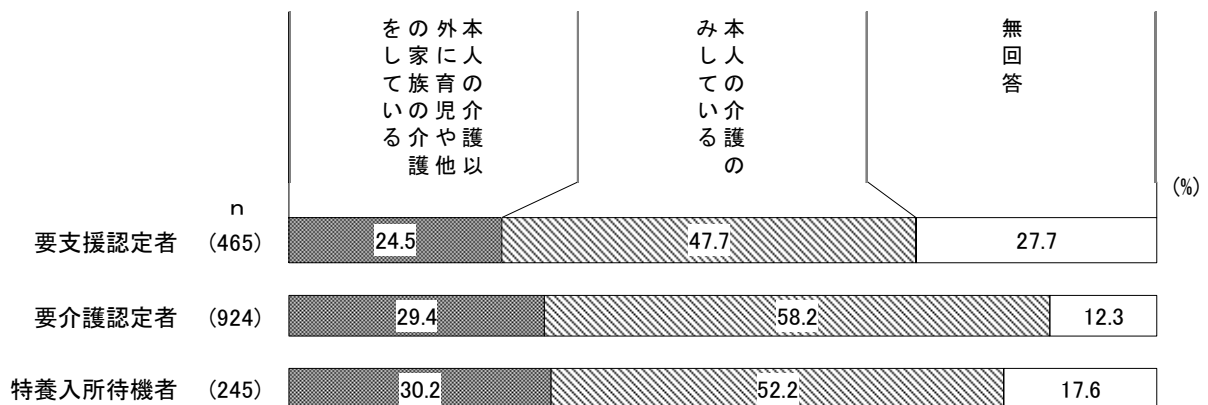
○主な家族介護者の調査対象者の介護以外の負担の状況は、いずれの調査でも「本人の介護のみしている」が最も高くなっている。

(複数回答)



[調査対象者の介護以外の負担の状況]

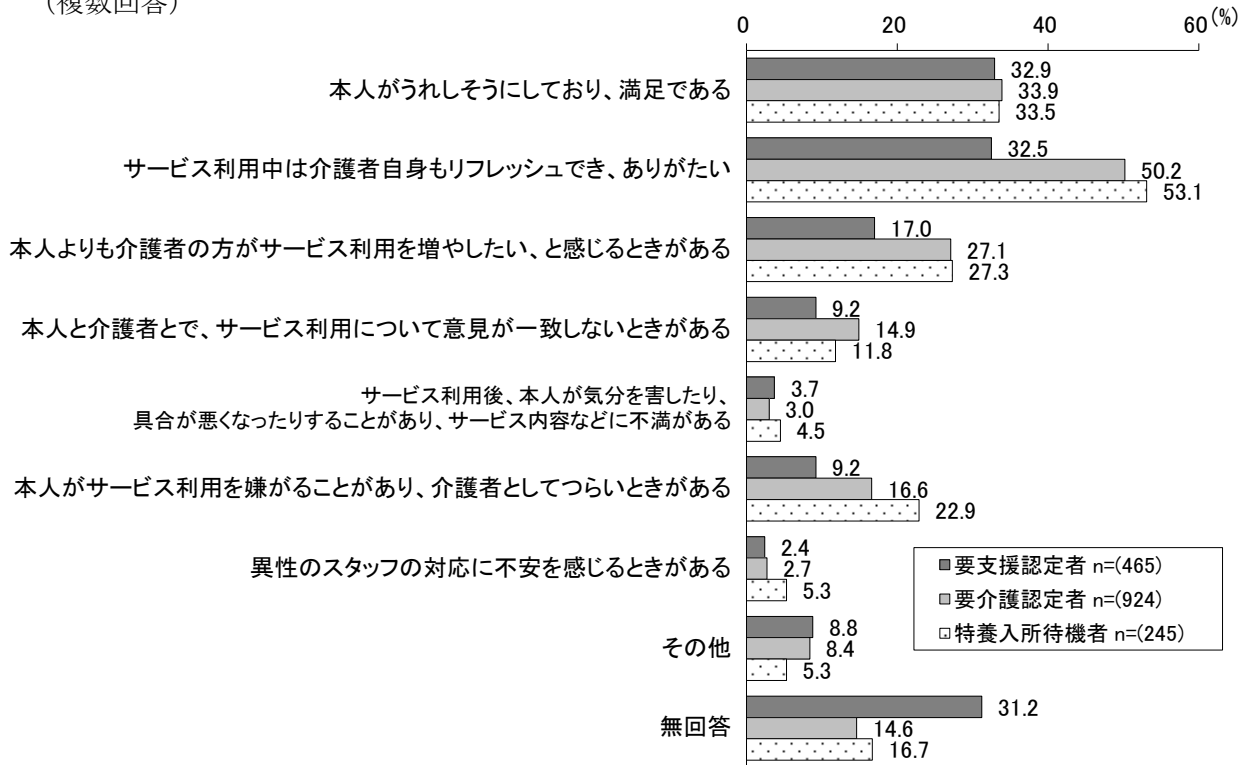
○“本人の介護以外に育児や他の家族の介護をしている”(「本人の介護のみしている」と無回答を除く)は、要介護認定者、特養入所待機者では、3割前後となっている。



(6) 介護サービス利用時の家族介護者の感じ方

- 主な家族介護者の介護サービス利用時の感じ方は、要支援認定者では、「本人がうれしそうにしており、満足である」(32.9%)、「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」(32.5%)が上位に挙がっている。
- 要介護認定者、特養入所待機者では、「サービス利用中は介護者自身もリフレッシュでき、ありがたい」が最も高く、5割超となっている。次いで「本人がうれしそうにしており、満足である」が3割半ばとなっている。

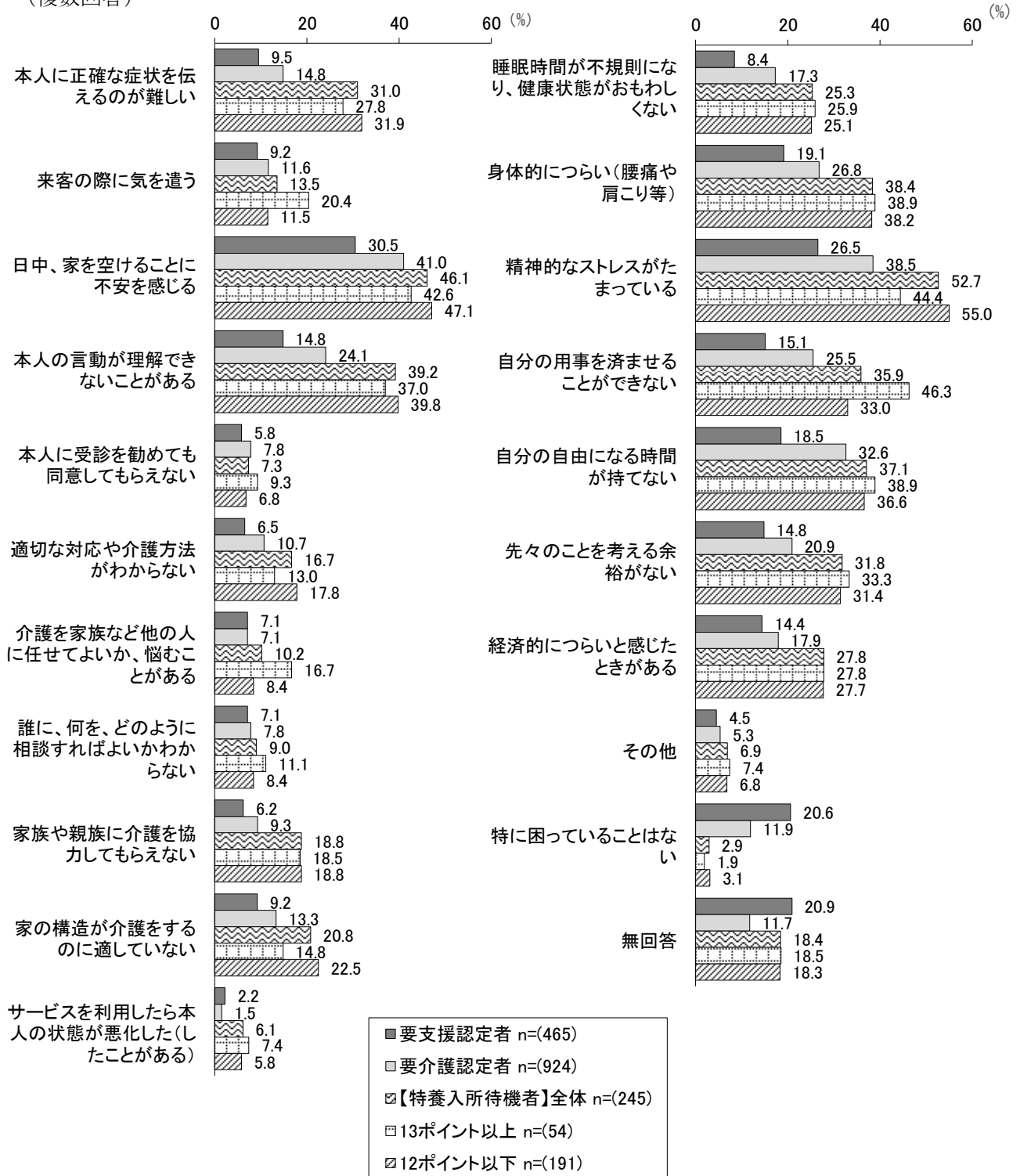
(複数回答)



(7) 家族介護者の負担や困りごと

○主な家族介護者の負担や困りごとは、いずれの調査でも「日中、家を空けることに不安を感じる」、「精神的なストレスがたまっている」が上位に挙がっている。

(複数回答)



(8) 介護をされていてつらい時の相談先

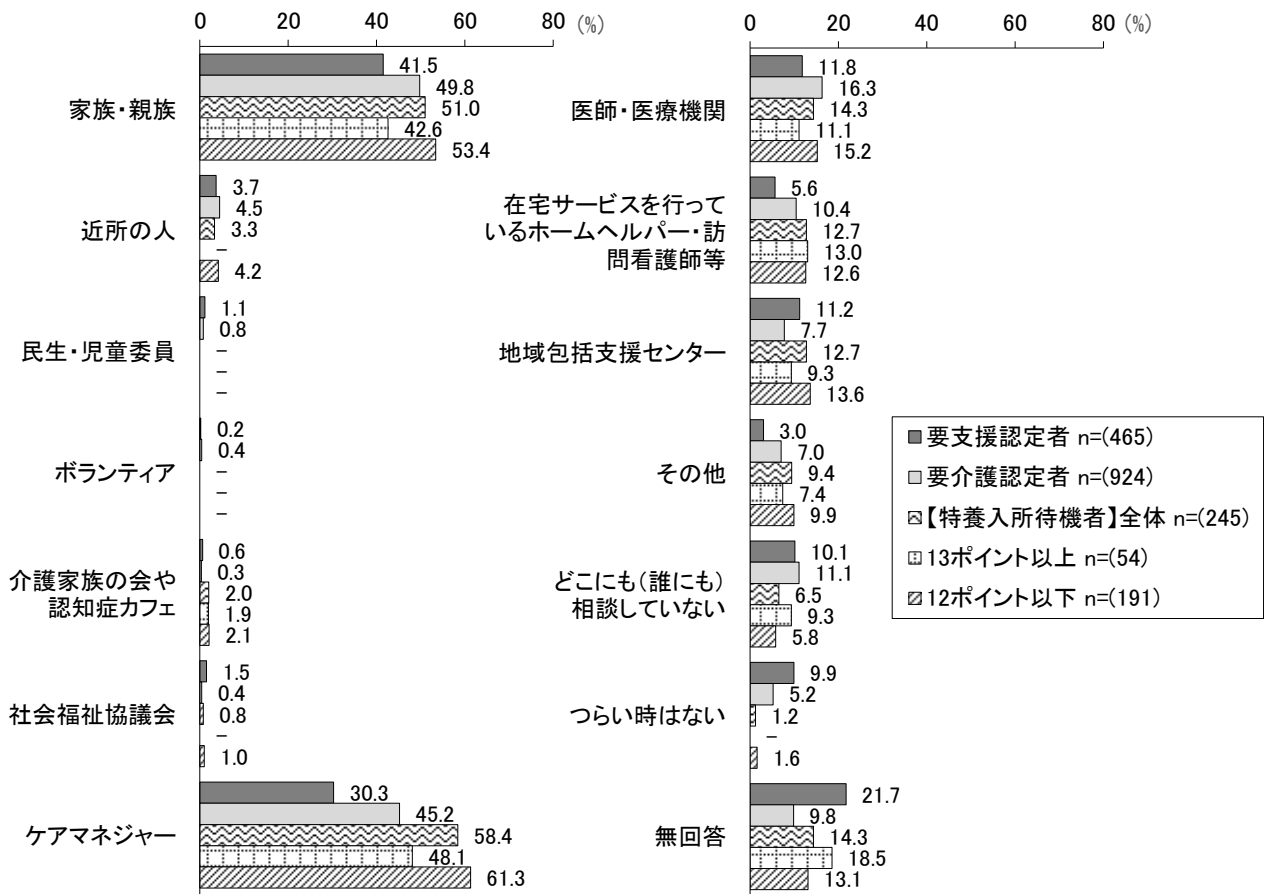
○主な家族介護者の介護をされていてつらい時の相談先は、要支援認定者、要介護認定者ともに、「家族・親族」が最も高く、次いで「ケアマネジャー」の順となっている。

○特養入所待機者では、「ケアマネジャー」が最も高く、次いで「家族・親族」の順となっている。

○いずれの調査でも「地域包括支援センター」は1割前後となっている。

○いずれの調査でも「どこにも（誰にも）相談していない」は1割前後となっている。

(複数回答)

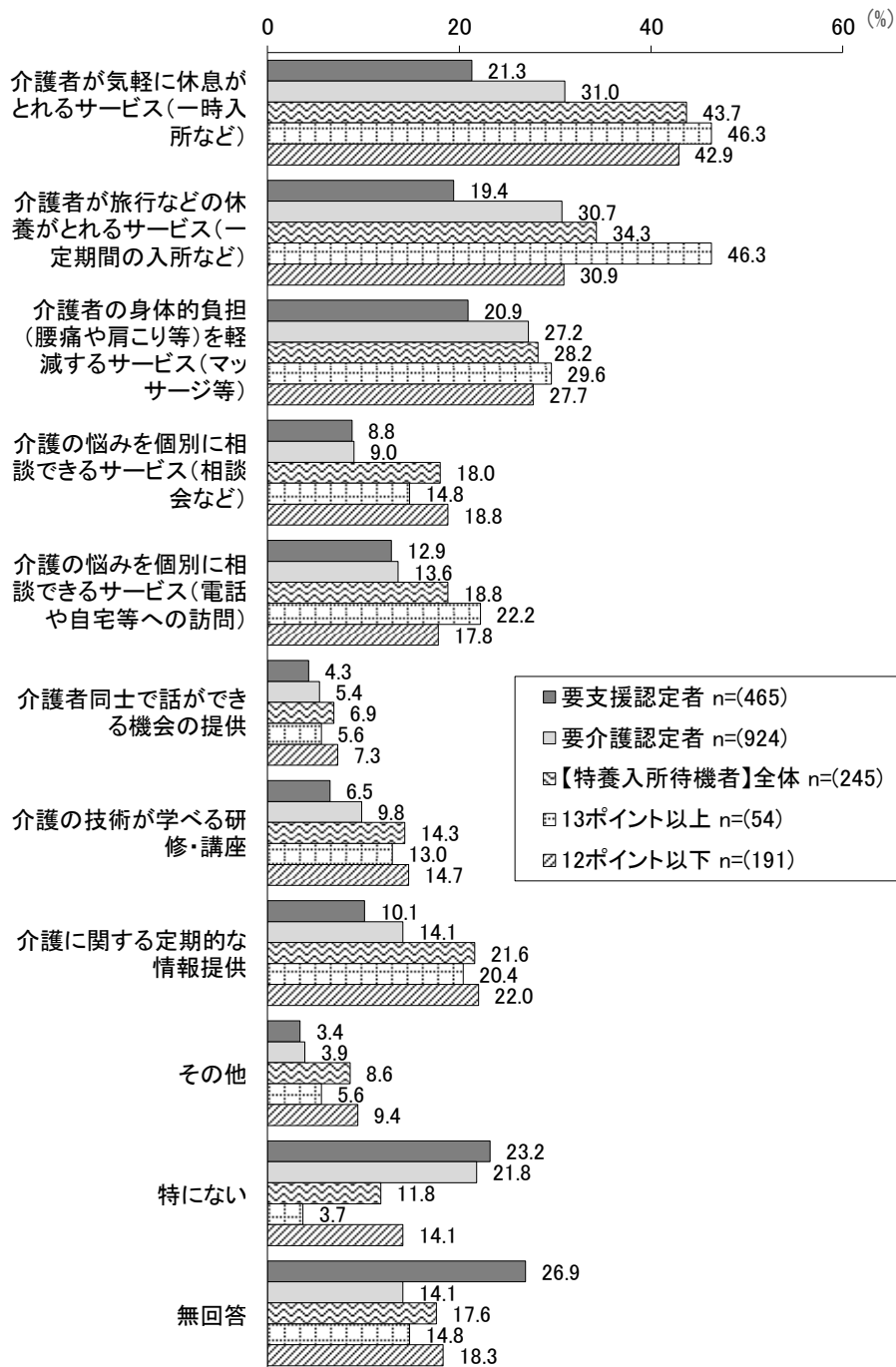


(9) 在宅介護を継続する上で介護者自身が受けたい支援

○在宅での介護を継続していくうえで、主な家族介護者自身が受けたい支援は、いずれの調査でも「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」、「介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）」、「介護者の身体的負担（腰痛や肩こり等）を軽減するサービス（マッサージ等）」が上位3項目となっている。

○特養入所待機者の13ポイント以上では、「介護者が気軽に休息がとれるサービス（一時入所など）」、「介護者が旅行などの休養がとれるサービス（一定期間の入所など）」がともに46.3%と最も高くなっている。

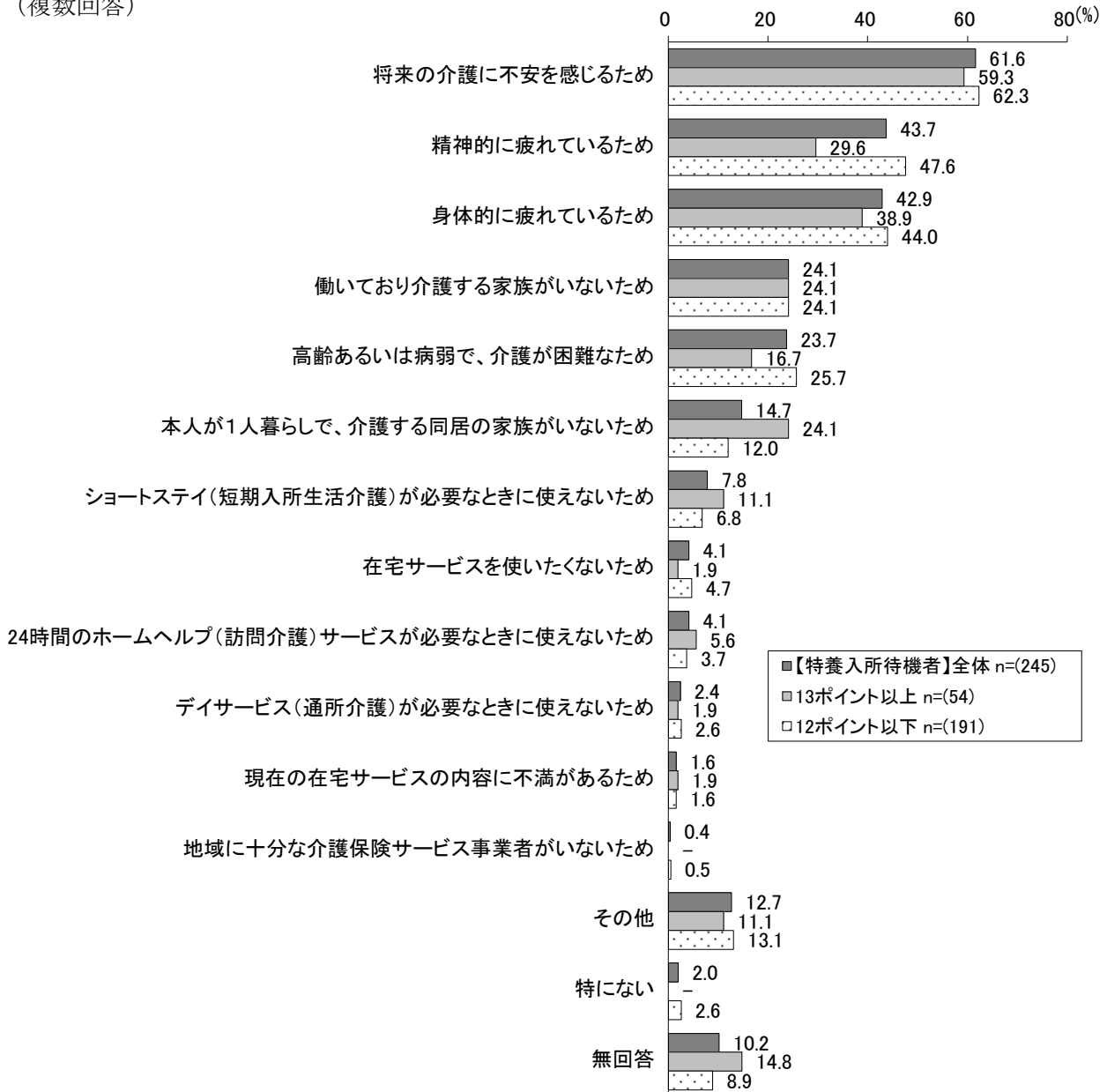
(複数回答)



(10) 特別養護老人ホームに申し込んだ理由（主な家族介護者）

○主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに申し込んだ理由は、特養入所待機者では、「将来の介護に不安を感じるため」(61.6%)が最も高く、次いで「精神的に疲れているため」(43.7%)、「身体的に疲れているため」(42.9%)の順となっている。

(複数回答)



(11) 家族介護者が特別養護老人ホームに期待すること

○主な家族介護者が介護者の視点から、特別養護老人ホームに期待することは、特養入所待機者では、「24時間体制で介護が受けられること」(74.7%)が最も高く、次いで「専門的な介護が受けられること」(63.3%)、「孤独にならないこと」(55.9%)の順となっている。

